

平成30年度埼玉県オハイオ州スカラシップ
機械工学インターンシップコース レポート⑤

「When in Rome, do as the Romans do」

山本 達也

・インターンシップ編

インターンを行い4ヶ月が経ちました。時が経つのは早いものでこのプログラムも折り返しの時期になりました。残り僅かな日々を大切に過ごしています。

引き続き行っているプロジェクトも終盤に差し掛かり、来月までには完了することができると思います。スーパーバイザであるブライアン氏に足りないパーツを注文してもらいました。5ピース入りのものを3つ頼んだはずが3ピースしか届きませんでした。そのことを相談すると、発注を確認してもらいました。

ブライアン氏には大変お世話になっています。彼に一つ質問をすると意図を読み取って複数のことを教えてくれます。まさに、一を聞いて十を知るような人です。彼と歩いていると沢山のひとと会い、その都度スモールトークをします。スモールトークとはこちらの文化で5分程度、時にはジョークを交えながら会話する事を意味します。ブライアン氏は会話が好きで仕事中大団圓をたまに忘れてしまうと言っていました。

最初の頃、私はスモールトーク文化を理解していなかったが故に雑談の途中に仕事の話をしました。ニコニコしていた彼が真顔になったとき、何かやってしまったかと思いました。私たちが異文化に触れている時、相手もまた異文化を感じているのかもしれませんが。郷に入っては郷に従えと言いますし、食べるものや話す言葉だけが文化ではありません。そのため、時にはジョークを言ってみたり（本当に難しいです）、雑談してみたりと試行錯誤しています。日本の企業でのインターンシップならばこういったことはできなかったと思います。恐らくですが、不真面目な人だと思われまふ。

インターンの合間にトロイ氏からジェリービーンズをいただきました。ルーレットを回して止まった場所にあるジェリービーンズを食べるそうです。私はカメムシフレーバーを引き当てました。最低な味でしたが奥歯に挟まってしばらく味わうことになりました。インターン先ではたまにこういったコミュニケーションがあります。人に恵まれた為、楽しく過ごしています。

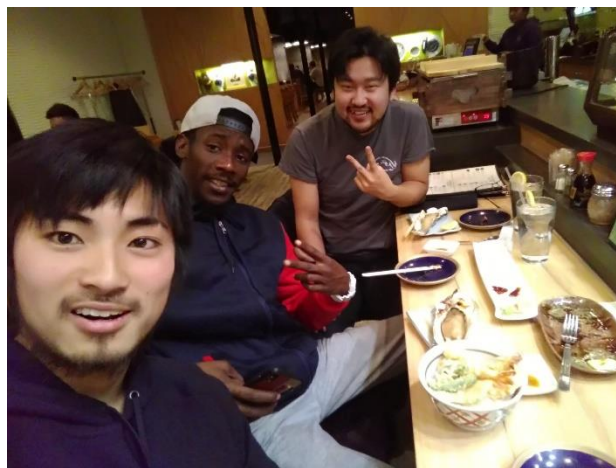


トロイ氏のジェリービーンズ

・フィンドレー大学での生活編

秋セメスターが終わりました。何人かの留学生とは今期でお別れです。その中の 1 人であり、私のクラスメイトで日本人のショウヘイ氏について書こうと思います。彼は同じクラスで最初は私と同じくらい英語が話せませんでした。そこで、彼と私の間で日本語禁止というルールを作りました。クラスに溶け込むため、そして英語の練習のため、お互いに話す言語は英語のみです。時が経つにつれて彼の語学力はぐんと上がり、色々なことが話せるようになり、私だけでなく現地の学生の友達をつくっていました。終盤になると、私の英語の間違いを指摘してくるようになりました。大変悔しい思いをしました。私は彼にとって良きライバルであり続けたかったのですが、私は少し怠惰で彼は努力家でした。そんな彼を深く尊敬しています。最初はお互いに高めあう友でしたが今となっては、彼が私の目標です。留学に来てよかったと思うことは彼のような人に会えた事だと感じました。

この月、サウジアラビアの留学生とショウヘイ氏と私で日本食を食べに行きました。先月のアラビア料理の恩返しです。久しぶりに食べる日本食は大変おいしかったです。サウジアラビアの彼は Ahmed といいます。イクラの軍艦巻きを注文し Ahmed に食べてもらいました。海苔が食べづらかったそうですが美味しかったと言ってくれました。ショウヘイは半年ぶりに食べる美味しい日本食に涙していました。ショウヘイは今後ヨーロッパを巡ったのち日本に帰るそうです。そんな彼に影響を受けた為、私は冬の休みを利用してアメリカを旅する事にしました。アメリカのどこがおすすめか、沢山の人の聞いて回りました。最終的にワシントン DC、フィラデルフィア、ニューヨークへ行くことにしました。詳細は来月のレポートにまとめる予定です。



左からショウヘイ、Ahmed、私 全員ヒゲ